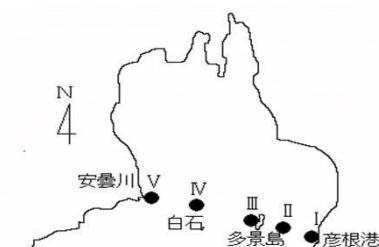


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和6年8月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和6年8月19日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場池先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

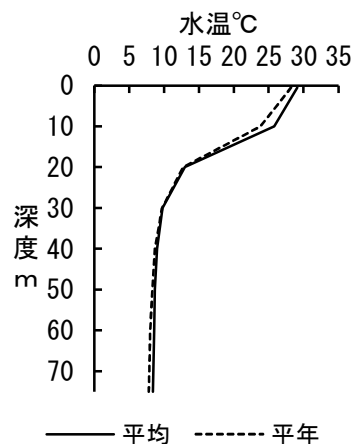
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2014年～2023年(平成26年～令和5年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 8月平均値 7.6m 平年値 6.5m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	8月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	29.1	28.2	+0.9
10	25.8	23.8	+2.0
20	13.0	12.7	+0.3
30	9.8	9.7	+0.1
40	9.0	8.7	+0.3
50	8.7	8.3	+0.4
60	8.6	8.0	+0.6
75	8.4	7.8	+0.6



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
7月下旬	29.1	26.5	+2.6
8月上旬	30.1	27.8	+2.3
8月中旬	29.5	27.8	+1.7

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	8月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0～10	6.7	12.0	-5.3
10～20	5.4	5.4	+0.0
20～40	2.2	1.3	+0.9
40～75	0.2	0.6	-0.4

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

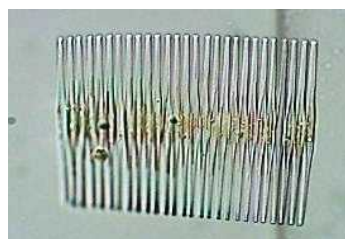
○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、地点Iでは*Aulacoseira granulata*(アウラコセイラ:珪藻)が、地点IVでは*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、地点I、II、Vではカイアシ類のノープリウス期幼生が、地点III、IVではカイアシ類のコペポデイド期幼生が個体数で最も多く認められた。



Aulacoseira granulata



Fragilaria crotonensis



ノープリウス期幼生



コペポデイド期幼生

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	8月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	7.7	100.3	7.9	102.0	-0.2	(-1.7)
10	8.0	97.7	8.1	97.2	-0.1	(+0.5)
20	7.5	71.6	7.6	73.4	-0.1	(-1.8)
30	9.3	82.1	8.8	78.7	0.5	(+3.4)
75	4.2	36.0	5.4	46.8	-1.2	(-10.8)